

美郷がいちばん、すきです美郷

# ふたもと 議会だより

ママ、がんばって

(大郷わくわく園運動会より)

2

実質公債費比率が4年連続で改善

4

将来を見据えた事業を評価

定例会のあらまし	2
決算内容	4
一般質問	10
行政視察研修	14
キラリ美郷人	20



4



2



5

- 1 新生・美郷中学校
- 2 農産加工チャンピオン大会  
『農商工連携（地販地消）プロジェクト』
- 3 わくわくサマースクール  
『子供育成プロジェクト』
- 4 七滝「水の森」植樹事業  
『水環境保全プロジェクト』
- 5 友好交流コンサート  
『交流促進プロジェクト』
- 6 総合防災訓練  
『安全・安心プロジェクト』



6



3

1



実質公債費比率が 12.8%

# 4年連続で改善する

9月定例会を、9月3日から7日までの5日間の会期で開きました▼審議した議案は、平成23年度一般会計決算認定など22議案▼そのすべてを、原案のとおり認定・可決・同意しました▼また、一般質問は4議員が登壇して町政をただし、陳情1件を採択しました。

**新** 生・美郷中学校の増改築と5プロジェクト事業を中心に事業展開した平成23年度一般会計の決算状況は、歳入124億3310万6千円・歳出120億4342万9千円で差引残高3億8967万7千円ですが、これに翌年度へ繰り越す財源3790万5千円が含まれており、実質収支は3億5177万2千円の黒字決算でした。（4～5P、表1参照）また、国民健康保険や下水道事業など5つの特別会計決算も、すべてが黒字決算となりました。（同、表2参照）

**議** 会では、9月3日の本会議で担当課長の説明を受け、6日全体質疑をお

こない採決しました。その結果、一般会計と国民健康保険・後期高齢者医療特別会計を賛成多数（一般会計が賛成15人・反対2人、2特別会計が賛成14人・反対2人）で、その他の3特別会計は全員賛成で認定しました。（9P、議案採決結果参照）

**平** 成23年度決算での町の財政状況を示す健全化判断比率の4指標は、実質赤字・連結実質赤字比率ともに黒字決算なので該当せず、実質公債費比率が12.8%、将来負担比率が46.1%と、どちらも4年連続して前年度より改善する数値となりました。（4～5P、表3参照）また、簡易水道事業・下水道事業・農業集落排水事業特別会計での資金不足比率は、いずれも黒字決算なので該当なしとなりました。

# 義務的経費 1.7%減少

# 将来を見据えた事業

# 業を評価

平成23年度一般・特別会計の決算内容を図表で掲載し、町の監査委員の決算審査意見を要約して掲載します。



審査する久米代表監査委員と吉野監査委員

## 審査意見

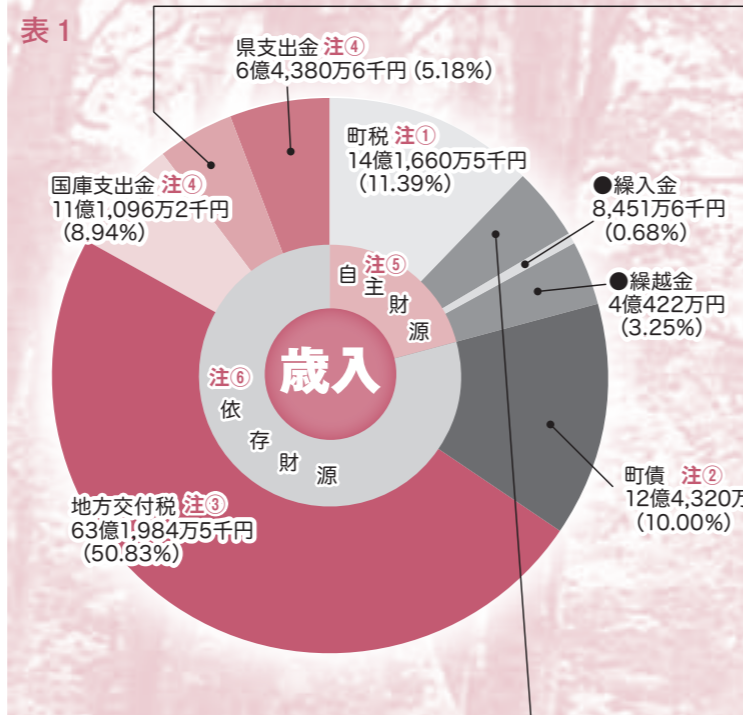
平成23年度予算執行の特徴は、職員数の適正管理や公債費の抑制により、義務的経費が1.7%減少したことと学校再編計画等の事業実施に伴い普通建設事業費が26.8%増加したことである。

財政状況では、実質公債費比率が平成22年度の14.2%から12.8%と改善したが、經常収支比率は同86.4%から88.2%と上昇した。上昇要因は、社会保障費の増加と比率算定の分母となる臨時財政対策債を借り入れしなかったことによるが、プライマリーバランスを考慮した将来の財政負担を勘案すれば、適切な措置と考える。

総合計画後期基本計画の2年目となる平成23年度は「まちづくり戦略プロジェクト」を基軸とし5つのプロジェクト事業による総合的な施策展開をした。また、町立図書館と中学校がそれぞれ統合した。

義務的経費の削減努力や町債の繰り上げ償還、また、事務事業の効率化を図るとともに町の将来像を見据えた事業展開を評価する。  
(抜粋・要約)

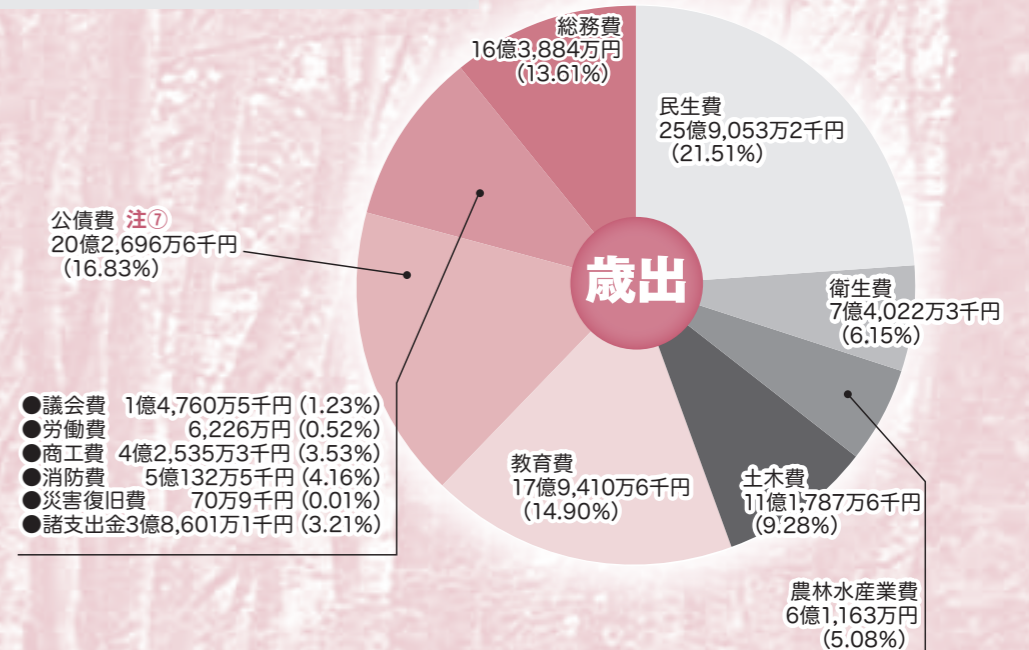
表1



- 地方譲与税 2億6,849万1千円 (2.16%)
- 利子割交付金 373万7千円 (0.03%)
- 配当割交付金 144万1千円 (0.01%)
- 株式等譲渡所得割交付金 27万7千円 (0.00%)
- 地方消費税交付金 1億8,298万1千円 (1.47%)
- 自動車取得税交付金 4,082万6千円 (0.33%)
- 地方特例交付金 3,174万8千円 (0.26%)
- 交通安全対策特別交付金 381万6千円 (0.03%)

- 分担金及び負担金 8,556万7千円 (0.69%)
- 使用料及び手数料 1億6,049万2千円 (1.29%)
- 財産収入 3,597万2千円 (0.29%)
- 寄付金 219万3千円 (0.02%)
- 諸収入 3億9,240万7千円 (3.16%)

## 一般会計決算



- 議会費 1億4,760万5千円 (1.23%)
- 労働費 6,226万円 (0.52%)
- 商工費 4億2,535万3千円 (3.53%)
- 消防費 5億132万5千円 (4.16%)
- 災害復旧費 70万9千円 (0.01%)
- 諸支出金 3億8,601万1千円 (3.21%)

## 平成23年度 各会計の収支決算総括表

表2 単位：千円

会計名	歳入決算	歳出決算
一般会計	12,433,106	12,043,429
国民健康保険特別会計	2,714,368	2,457,729
簡易水道事業特別会計	392,957	391,820
下水道事業特別会計	171,348	169,048
農業集落排水特別会計	180,877	177,672
後期高齢者医療特別会計	170,553	170,302
合計	16,063,209	15,410,000

## 健全化判断比率

表3

健全化判断比率	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	早期健全化基準
①実質赤字比率(注⑧)	-	-	-	-	-	13.65%
②連結実質赤字比率(注⑨)	-	-	-	-	-	18.65%
③実質公債費比率(注⑩)	19.4%	18.3%	16.3%	14.2%	12.8%	25.0%
④将来負担比率(注⑪)	142.8%	122.6%	95.1%	66.6%	46.1%	350.0%

※赤字(資金不足)額がないものは該当なしのため「-」を表示しています。

## 町の借金と職員人件費、預金(基金)の残高推移表

(年度末残高) 単位：千円

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
町債残高	16,514,661	16,578,132	16,431,552	16,325,433	15,679,307	14,763,612	14,062,756	13,478,089
債務負担行為残高(注⑫)	1,635,877	1,399,364	1,266,316	680,369	338,127	292,065	277,902	202,792
職員人件費	2,613,990	2,493,319	2,351,542	2,251,455	2,165,974	2,075,104	2,014,488	1,973,032
基金残高	1,832,876	2,314,840	2,546,636	2,946,653	3,617,143	3,929,737	4,653,428	4,954,923

### 用語解説

- 注①町税：町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- 注②町債：町が資金調達のために行う長期借入(借金)のこと
- 注③地方交付税：自治体ごとの税収の差をならし、どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金(所得税、法人税、酒税など)の一部を地方自治体に配分するお金のこと
- 注④国庫・県支出金：特定の事業をするために、その経費に使うことを条件として、国や県から交付されるお金のこと
- 注⑤自主財源：町税や使用料・手数料など、町が独自に調達するお金のこと
- 注⑥依存財源：地方交付税や国庫・県支出金など、国や県から入ってくるお金のこと

- 注⑦公債費：地方債の元金と利子などの返済に充てる経費のこと
- 注⑧実質赤字比率：一般会計などの実質赤字の比率
- 注⑨連結実質赤字比率：全ての会計の実質赤字の比率
- 注⑩実質公債費比率：公債費及び公債費に準じた経費の比重を示す比率
- 注⑪将来負担比率：地方債残高のほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の比率
- 注⑫債務負担行為：地方公共団体が建設工事をしたり土地を購入する場合、数年度にわたる債務について契約などで将来の支出を約束するもの。乱用すると将来の財政運営を悪化させる恐れがある

# 税金の減免申請が増える

9月6日、平成23年度一般・特別会計決算の全体質疑を本会議場でおこないました。その主な内容を要約しお伝えします。

## 一般会計

### 歳入

**武藤議員** 滞納者対策として、どんな納税相談をしているか。また、減免制度を説明しているか。

**税務課長** 納税相談は臨戸を中心にこない、個々の事情に合わせた納付につなげている。また、資力がないうちや収入が少ない場合は滞納処分執行停止措置をし、平成22年度末で2100万円ほどの執行停止が23年度末では3300万円に増えている。減免制度については、窓

### 歳出

口に申請用紙を用意し対応している。減免件数も増えており、23年度は一般会計で293人から相談があり、322件の税額で668万8300円減免した。

### 事業を啓蒙する

**泉(美)議員** 資源ごみの集団回収の実績と今後の取り組みは。  
**住民生活課長** 23年度は1行政区がおこなった。今後も、4月に開く廃棄物減量等推進委員の会議や広報でこの補助

事業を啓蒙していく。  
**問題なければ廃止**

**中村(利)議員** 百目木地区のごみ最終処分場の状況を聞く。

**住民生活課長** 今年度は、2年間の廃止に向けた計画の2年目だ。調査結果に特に問題がなければ、廃止計画を県に提出し廃止となる。

### 水質に問題ない

**中村(利)議員** 地下水涵養池の周辺環境が悪化しているが対応を聞く。

**建設課長** 涵養池は4箇所あるが、職員が通動時に状態を確認して業者委託で泥上げをおこない、地元の方や改良区と連携を取りながら職員が粗大ごみを適時に除去している。

水質は、地下浸透でもあり問題ない。

### 売上げ増の取組みは

**中村(利)議員** 道の駅雁の里せんなんの売上げ増の取組みを聞く。

**商工観光交流課長** 現在、秋田県全体の観光客数が減る中、道の駅の売り上げも横ばい状

### 供給の工夫を

**戸澤議員** 道の駅雁の里せんなんは農産物の補充が足りず品切れがあり、供給を工夫すべきだ。

**商工観光交流課長** 昨年度から出荷者に連絡し再度の搬入を促しているが、今後も出荷団体と相談しながら取り組みたい。



道の駅雁の里せんなん



無人ヘリでの防除作業

### 計画に変わりないか

**深澤(均)議員** 誘致企業のトクヤマでは、将来の規模拡大を計画していた。現在の経済状況は混沌としているが、計画に変わりはないか。  
**商工観光交流課長** 商品開発スピードは順調だと聞いています。研究職員の追加もあり、計画を加速化したいとのことだ。

### 経済波及効果は

**泉(美)議員** 住宅リフォーム補助金でのリフォーム工事の内容と経済波及効果を聞く。  
**建設課長** 129件の申請があり内容は多岐にわたる。経済波及効果は3億4〜5千万円の発注があったと把握している。

### 使用実績はあるか

**深澤(均)議員** 23年度導入した衛星携帯電話の維持管理と使用実績を聞く。  
**総務課長** 1台29万7150円の衛星携帯電話を5台導入した。維持管理費は1台の基



坂本東嶽邸

### 当時の修復を

**武藤議員** 坂本東嶽邸の改修工事では、当時に合わせた修復をすべきだ。

**生涯学習課長** これまで、歴史的建築物への見識がある先

生方に見ていただき、壁の色などは従来のものに戻そうとしているが、耐震改修なので柱の太さなどは安全なものにしている。

### 発掘を働きかける

**中村(利)議員** 横手市金沢の陣館遺跡と関係がある鎧ヶ崎遺跡の発掘はどう進んでいるか。

**生涯学習課長** 鎧ヶ崎遺跡は、昨年県にも見てもらった。今後、発掘調査を強く働き掛けたい。

### 虫被害対策は

**武藤議員** 街路灯に集まる虫被害の苦情が多いが対策は。

**住民生活課長** 現在、町に2833基の街路灯がある。苦情もあつて状況を把握しているが安全面の問題もある。隣接者の強い要望には、地域の同意を得て消す場合もあり、虫を防除する場合は薬剤費を町が負担している。安全・安心のまちづくりをご理解いただきたい。

### 反対討論

**泉(美)議員** 依然として厳しい経済状況の元、町が住民の暮らしを守るため様々な施策を実行し、特に地域経済活性化対策としての住宅リフォーム助成制度の実施を評価する。しかし、自治体職員の役割が重要になる中、職員数の適正化の元に職員の削減が図られたので認定に賛成できない。職員の増員を求め討論とする。

### 賛成討論

**福田議員** 平成23年度一般会計は、職員数の削減や公債費の抑制、町債の繰り上げ償還などによる黒字決算であり、また実質公債費比率が12・8%と前年比マイナス1・4ポイントで健全な決算内容だった。なお、町税などの新たな未納者防止対策と更なる経常経費の抑制を求め討論とする。

### 引き続き助成する

**熊谷(隆)議員** 航空ヘリ防除の内容を聞く。  
**農政課長** 実施面積は仙南地区1770ha、六郷地区336ha、千畑地区1066haの合計3172haを実施し、町で1ヘクタール10000円の嵩上げをしている。減農薬の観点から実施回数が減ってきているが、引き続き防除への助成を考えていきたい。

# 「人・農地プラン」どう進める

今定例会で審議した条例改正、一般会計補正予算やその他の質疑を要約してお伝えします。

## 一般会計 補正予算

**飛澤議員** 今年から国の制度として進める「人・農地プラン」の検討会や説明会の持ち方は。  
**農政課長** 町全体を一つとして各農業団体の関係者や女性農業士など10人程で検討会を開催してプランを作り、ある程度の集落をまとめて説明する考えだ。



コンバインでの稲刈り作業

**障害者免許取得補助は**  
**深澤（均）議員** 障害者自動車運転免許取得補助金10万円は新規取得の場合だけか。  
**福祉保健課長** 新規取得で対象者一人につき1回限りの交付だ。

**突発事故補助金内容は**  
**深澤（均）議員** 県事業の突発事故復旧支援事業費補助金の内容は。

**農政課長** 金沢地区のパイプラインが破損し約140haへの冠水支障に対する事業で、事業費29万9千円で町の負担は10%だ。

### トラック改修工事は

**熊谷（隆）議員** 美郷中学校の陸上競技場トラック改修工事の内容は。

**教育施設課長** 排水対策として行なう暗渠と土の入れ替えだ。

### 冬囲い収納は

**中村（美）議員** カントリーパークのパークハウスが解体



観光案内休憩所

### 条例改正

**北運動公園設置  
条例の一部改正**

**テニスコートの整備**

**熊谷（隆）議員** 新たに北運動公園となる旧千畑中学校テニスコートの整備計画は。  
**生涯学習課長** 老朽化も進んでおり、利用者の状況を見ながら検討したい。

されるが、パーク内樹木の冬囲い材料の収納はどこにするのか。  
**建設課長** パーク内の野外ステージに保管する。

### 休憩所の活用は

**吉野議員** 観光協会が観光案内休憩所を指定管理するが、どのように活用するか。

**商工観光交流課長** 写真パネルの展示や昔語りイベントの開催、それに水の衛生的な提供などだ。

## 第7回議会臨時会提出議案一覧 (7/3)

- 議案第63号 工事請負契約の締結について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第64号 美郷町清水とふれあいの里設置条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第65号 平成24年度美郷町一般会計補正予算第5号 〈全員賛成で原案可決〉

## 第8回議会定例会提出議案一覧 (9/3~7)

- 認定第1号 平成23年度美郷町一般会計決算認定について 〈賛成15人：反対2人で原案認定〉
- 認定第2号 平成23年度美郷町国民健康保険特別会計決算認定について 〈賛成14人：反対2人：欠席1人で原案認定〉
- 認定第3号 平成23年度美郷町簡易水道事業特別会計決算認定について 〈賛成16人：欠席1人で原案認定〉
- 認定第4号 平成23年度美郷町下水道事業特別会計決算認定について 〈賛成16人：欠席1人で原案認定〉
- 認定第5号 平成23年度美郷町農業集落排水事業特別会計決算認定について 〈賛成16人：欠席1人で原案認定〉
- 認定第6号 平成23年度美郷町後期高齢者医療特別会計決算認定について 〈賛成14人：反対2人：欠席1人で原案認定〉
- 議案第66号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第67号 美郷町体育館設置条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第68号 美郷町北運動公園設置条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第69号 美郷町交流センター設置条例及び美郷町交流センター使用料徴収条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第70号 美郷町道路占用料徴収条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第71号 美郷町農村公園条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第72号 美郷町特定地区公園条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第73号 美郷町防災会議条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第74号 美郷町災害対策本部条例の一部改正について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第75号 美郷町職員の厚生制度に関する条例の廃止について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第76号 指定管理者の指定について 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第77号 平成24年度美郷町一般会計補正予算第6号 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第78号 平成24年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第2号 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第79号 平成24年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第2号 〈全員賛成で原案可決〉
- 議案第80号 平成24年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第1号 〈全員賛成で原案可決〉
- 発議第4号 少人数学級の推進、義務教育費国庫負担率2分の1復元に係る意見書の提出について 〈全員賛成で原案可決〉

## 議案採決結果

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。この他は、全員賛成で可決しました。

議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	中村美智男	熊谷良夫	伊藤福章	武藤威	森元淑雄	中村利昭	吉野久	福田守	泉美和子	泉繁夫	杉澤隆一	渋谷俊二	深澤均	戸澤勉	熊谷隆一	飛澤龍右門	深沢義一	高橋猛		
◎平成24年第8回議会定例会																				
認定第1号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第2号	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第6号	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

## 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

◇少人数学級の推進、義務教育費国庫負担率2分の1復元に係る意見書採択についての陳情書

秋田県教職員組合 執行委員長 伊藤 正通  
秋田県教職員組合仙北支部 支部長 渋谷 聡

# はり・マッサージ券を増やせ 町長「増やす段階にはない」



中村 利昭 議員

**議員** 美郷町では、高齢者の健康維持増進を図るために65歳以上を対象に「はり・きゅう・マッサージ券」を年に12枚交付しているが、それを20枚ぐらいいまで増やせないか。また、働き盛りの方々まで年齢を下げられないか。そして医療費の抑制策として、申請方式から対象年齢に達したら自動的に交付できるよう対象者を広げることができないか。

**町長** 平成23年度でのはり・きゅう・マッサージ券は、申請に基づき1万7976枚を発行しているが、実際に使用されたのは3675枚で利用率20・4%だ。これは過去3年間同様の状況であり、現在交付枚数を増やす段階にはない。

**議員** 美郷町の人口減少を食い止める施策の一つとして、住宅を格安に提供する町営住宅を増やすべきだ。

## 町営住宅を増やせ

交付年齢の引き下げは、この事業が高齢者福祉施策として位置づけられており65歳からの対象は近隣他市と比較しても妥当と考える。交付方法については、65歳以上の全対象者のうち申請者は24%前後であり現行制度を維持していく。

**町長** 町営住宅は、低所得者に対して低廉な家賃で住宅を提供することを目的にこれまで189戸を整備し供給しているが、住宅戸数は、一部の公営住宅の耐用年数が到来するまで現状維持する。



敬老会にて



深澤 均 議員

**議員** これまで町外在住者を対象とした定住促進奨励制度を、今年度から40歳未満の町内在住者に拡大し予算も大幅に増額したことで定住促進への期待が高まっている。しかし、その交付要綱での対象者や子どもの年齢などで奨励金の差があるがなぜか。

**町長** 若者定住促進奨励金交



美郷町定住促進ガイド

付要綱の基本は、人口増加への寄与と次世代の町への定着期待感だ。そのため、今後の出産や育児による人口増加を期待しやすい40歳未満の若夫

婦世帯、乳幼児を扶養している世帯、婚姻の可能性がある独身世帯、小・中・高校生を扶養している世帯と区分を設けている。また今年度は、町

外からは5世帯、町内では40世帯を目標としている。奨励金額の差は、本施策が町外の若者が定住することで人口の増加を図ることを基本としていることから、町外からの定住者を重点的に支援することとしたものだ。すでに町内に住んでいる若者については、引き続き町内に住み人口維持を図る観点が必要との整理で支援をしている。また、町内在住の方は、中古住宅の取得補助の他にリフォームでの別途支援制度があるので上乗せが可能だ。

# 一般質問

## 定住奨励金を

## 隔てなく

## 町長「上乗せ可能だ」

### 質問者

- 中村 利昭 議員
  - ◇はり・きゅう・マッサージ券について
  - ◇町づくりについて
- 熊谷 隆一 議員
  - ◇空き家対策について
- 泉 美和子 議員
  - ◇消費税増税について
  - ◇学校給食費の助成を
- 深澤 均 議員
  - ◇若者たちへの定住促進奨励金について

# 学校給食費の無料化を 町長「無料化の考えはない」



泉 美和子 議員



千畑南小学校の給食風景

**議員** 現在、給食費は食材費として保護者が負担している状況だが、給食が食育という観点からすれば大事な義務教育の一環だ。

全国的には、人口減少対策や子育て支援策として、子ども医療費無料化などとともに給食費無料化を実施する自治体が増えてきている。県内でも、八郎潟町が今年4月から無料化に踏み出し大変喜ばれている。

子どもたちに対し町が行っているさまざまな取り組みの一環として、ぜひ学校給食の無料化を進めるべきだ。

**町長** 学校給食法では、給食センターなどの施設や設備の維持管理費と運営にともなう調理などの人件費は自治体負担、それ以外の食材費は保護者が負担することと定めている。

現在、小学生1食265円、中学生1食295円を負担していたらいており、要保護・準要保護児童生徒に対しては、

### 増税に対する見解は

**議員** 消費税増税だけが先行した「税と社会保障一体改革法」が成立した。

増税に対する町長の見解を聞く。

**町長** 地方公共団体の長がすでに成立した法律に見解を述べることは差し控える。

**議員** 豪雪や暴風雨などで危険な空き家に対し「美郷町空き家等の適正管理に関する条例」が制定されたが、次の4点を聞く。

①地区ごとの実態と件数は  
②地区住民との協議、調査は  
③具体的な解体方針は  
④解体費用の助成制度は

住民や行政協力員、自主防災組織の代表などと調査し、所有者不明の空き家は雪庇を落とすなど当面の危険に対応している。

③条例では、住民の生命に危害をおよぼすと確実に認められる場合に限り、調査委員会に諮り法律に基づいた行政代執行も可能としているが、解体が全てではなくあくまでも危険除去が目的なので、画一的な解体方針は提示できない。

④助成についてはあらゆる面からの検討を重ねているが、基本は個人財産として所有者が適正管理することだ。引き続き粘り強く適正管理を呼びかける。



中学生による除雪ボランティア

# 解体費用の助成制度を 町長「所有者が管理すべきだ」



熊谷 隆一 議員

# 不断の議会改革を学ぶ

北海道 白老町



3議会合同での研修

研修1日目の白老町は、北海道の南西部で登別・苫小牧市に隣接する人口1万9千人の観光資源に恵まれた町です。今回は、白老町の議会改革と通年議会について、奈良県吉野町と北海道斜里町との合同で研修しました。

白老町議会は、改革の取り組みとして「開かれた議会、信頼される議会」を目指して平成9年にその検討に着手し、平成10年から始まった第1次改革では地域に向く議員の出前トーク、一般質問の1問1答方式を採用しました。また、平成14年からの第2次議会改革では、インターネットによる議会中継や議員定

数の検討・削減を実施し、執行部に反問権の付与などの議会改革を進めました。そして、平成18年から現在までの第3次議会改革では、全国にさきがけて平成20年に通年議会を導入し、議会の活動能力がない閉会中の期間を無くしました。通年議会の導入により、議会が主導・機動的に活動できるようになり、また、チェック機能の充実強化が図られ、災害時の緊急対応や突発的な行政課題に対応できるようにになりました。その他、傍聴者へ審議資料の配布、委員会の公開など「不断の議会改革」として取り組んでおり、有意義な視察内容でした。

## 目的は

## 住民福祉の向上

北海道 栗山町

研修2日目は、全国にさきがけて「議会基本条例」を制定し、議会改革の継続・発展に努めている栗山町を視察しました。

地方分権の進展にともない、自治体の権限が拡大する中で議会の役割も大きくなっています。これに対応して、議会改革を積極的に進めていくた

め、議員の責務や議会が取る基本的な姿勢などを明示した「議会基本条例」を制定する自治体が増えています。栗山町議会では、平成18年に「議会基本条例」を制定していますが、それ以前から情報公開条例の議員提案やインターネットによるライブ中継、議会報告会の実施など議会改

革・活性化に取り組んできました。

中でも、全国で2例目で北海道内では初の議会報告会を平成17年3月に実施し、町民との意見交換会をおこなったことが「議会基本条例」制定

のきっかけになったとのことでした。

この基本条例で、議会への住民参加という点で特徴的なことは、請願・陳情を町民からの政策提案として位置づけ提案者の意見を聴くことと、

町民や団体との意見交換のための「一般会議」を開くことを定めていることです。また、町民の提言を議会運営に反映させるべく「議会モニター」の設置や、有識者に政策づくりへの助言をもらう「議会サ

ポーター」の導入などもおこなっています。

栗山町議会がこの基本条例を積極的に実施し、議会の充実・活性化に努めていることは、今後、美郷町議会が活性化へ向けて取り組む上でも多

いに学ぶべきものだと感じました。

「目的は住民福祉の向上のため、基本条例はあくまでもその手段」と言う栗山町議会議長の言葉が印象的でした。



栗山町にて

## 農業の積極的な

## 取り込みを学ぶ

北海道 千歳市

研修3日目は、早くから農業の6次産業化に取り組んでいる千歳市の箱根牧場を視察しました。

箱根牧場は、経営面積120haで、自然を活かした家畜の飼養と有機農産物の生産・加工を経営基盤として商品の全国発送やレストラン併設の体験農園開設など、消費者との接点を積極的に進めており、雇用の創出や今後の農業経営のあり方につながる研修でした。





# 第9回 住民と議会との懇談会

6月26・27・28日町内9  
会場で「住民と議会の懇談会」  
を開催いたしました。その内容  
を報告します。

平成18年10月、住民に身近な議会をめざして秋田県内で初めて開催した『住民と議会との懇談会』は、今回で9回目となりました。会場では、お忙しい中参加してくださった74人の住民の皆様と、まちづくりから世間話まで広範囲に和やかに意見交換することができました。

議会では、7月13日議員検

討会を開催し、各会場で話し合ったまちづくりへの提言・意見・要望について全議員が確認し、町や関係機関への要望事項を決めました。

以下、議会や町への提言・意見・要望などの主なものを要約して掲載し、あわせて議会の回答と町から提出された回答を要約して掲載します。

## 乗合タクシー 停留所を 増やせないか



石神会館にて

**要望** 乗合タクシーの停留所が少ない。医院の傍らなどに増やせないか。また、仕組みがよくわからない人もいるので周知の仕方を検討してもらいたい。

**町への回答** 乗合タクシーの停留所となる拠点は、バス停、駅、公共施設、温泉、商店街などとしており現在15カ所ある。また利用については、町広報5月・11月号に掲載して周知を図っているが、今後は拠点の見直しや周知について

### 議会だよりにより工夫を

美郷町地域公共交通活性化再生協議会で検討していきたい。

**提言** 議会だよりは、町広報と同じような内容が掲載されている。合併からの人件費や基金、起債額の推移なども掲載してほしい。

**議会の回答** ご意見にお応えした議会だよりの編集に努める。

### 利用できない

**要望** 旧仙南中のセミナーハウスの利用計画を聞く。また中学生も利用できないか。

**町への回答** 今回の統合により敷地内にあるセミナーハウスを学童保育施設として利用するため、セミナーハウスとしての用途は廃止となり中学生の利用はできない。

中学生は現在のトレーニングセンターを平成26年度から利用する予定だ。

### 若人の紹介を

**要望** 町で頑張っている高校生や社会人、若い人を紹介してほしい。

**議会の回答** みさと議会だよりの「キラリ美郷人」に掲載するなど、これから多くの若人を紹介する。

付近からアカシヤの伐木と洲ざらい、河床の整備を地域振興局建設部に要望した。

### エリア分けをする

**要望** スクールバスは距離によつて運行されると聞くが行政区を二分することの無いようにしてもらいたい。また運行コース・時間の見直しはどのようにして行われるか。

**町への回答** スクールバスに乗れる児童は、自宅から主要通学路を経由して最短で小学校までの距離基準を3km以上としているが、集落や登校班を分断しないようなエリア分けを検討する。

バスの運行コースと時間の見直しについては、本年度より中学校のスクールバス運行が開始され、冬期は乗車対象者数も増え、限られた時間やバスの台数、車両の大型化や道路状況に加えて生徒児童数の分布が毎年変化するので、その都度見直しする必要がある。

### 案内板設置を

**提言** 飯詰駅からリリオスマでの案内として、駅前に案内看板を設置してはどうか。

**町への回答** 美郷町サイン計画に基づき、平成23年度から公共施設や行政区への誘導案内看板の設置を進めており、平成24年度でも新規設置や既設看板の見直しをおこなうこととしている。要望の件も十分検討し、わかりやすい案内看板を設置するよう努める。

### 資料の作成を

**意見** 住民と議会との懇談会の議会報告は資料がないのでよくわからなかった。資料を提示していただきたい。

**議会の回答** 次回の懇談会からは資料を作成し、皆様にわかりやすく説明する。

### 通学路に道路標示を

**要望** 六郷小学校通学路に、30km規制の道路標示ができないか。



丸子川

**県に要望した** 要望 中野行政区は河川愛護会で丸子川の草刈りを毎年しているが、堆積土が増えアカシヤの木が作業に支障をきた

**町への回答** 関係機関と協議のうえ、早急に実施するよう努める。

している。また、大畑橋下流で河床が陥没している箇所があり、早期に浚渫と伐採、河床整備を望む。

**町への回答** 丸子川は秋田県が管理する1級河川で、県では計画的に伐木、洲ざらいを実施している。町でも現地を確認し、丸子川橋上流400m



# 住民要望で 道幅が広がる

「住民と議会との懇談会」で提案された意見や要望が町へ伝えられ、その後まちづくりにどう活かされたかを追跡レポートします。

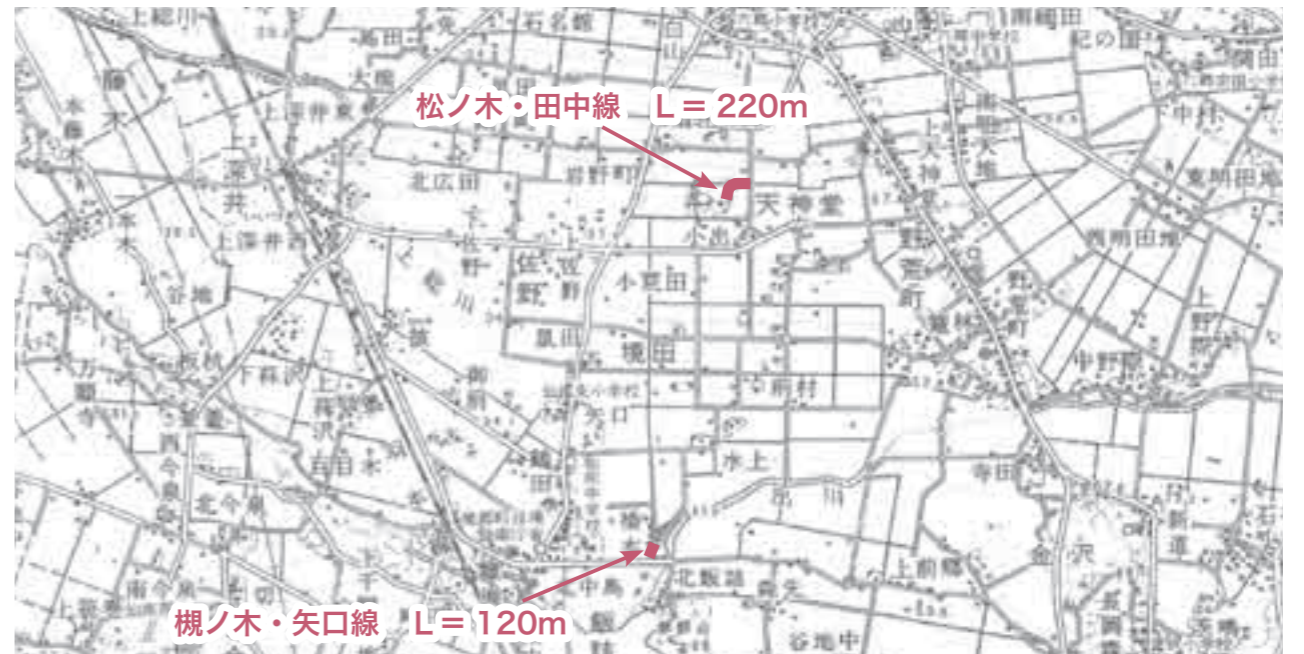
**住民** 道路が狭小で、冬期間緊急車両が通行できるよう拡幅延進してほしい。

平成23年開催の「住民と議会との懇談会」より

9月定例会で、松ノ木・田中線、槻ノ木・矢口線を改良舗装する補正予算案を全員賛成で可決しました。

## 拡幅工事が行われる区間

松ノ木・田中線 幅員4mを5mに  
槻ノ木・矢口線 幅員3.8mを5mに  
改良舗装します。



## 人事

【人権擁護委員の推薦】

次の方の推薦に同意しました。



高橋 学氏(新任)  
(千屋北部)

## 第7回臨時議会 仙南地区統合小学校 校舎改修工事契約締結

7月3日第7回臨時議会を開催し、工事請負契約の締結や平成24年度一般会計補正予算を審議して全員賛成で可決しました。

工事請負契約の内容は、仙南地区統合小学校校舎改修工事を9147万6千円で町内業者と請負契約するものです。

また、補正予算の主な内容は、台風4号の影響により破損した公共施設の修繕に要する経費で、歳入・歳出それぞれに86万7千円を追加し総額を113億4095万6千円としました。

11月19(月)20(火)21(水)日

## 第10回「住民と議会との懇談会」を開催します

議会では、本会議の内容や議会活動の状況などを町民の皆さんにご報告・説明し、また、議会に対する意見や要望をお聴きする機会として「住民と議会との懇談会」を開催します。町内9会場どこでも自由に参加できます。たくさんのご来場をお待ちしております。

日時	地区	会場	担当班
11月19日(月) 午後7時00分～ 午後8時30分	千畑地区	千北会館	1班
		塚自治会館	2班
		羽貫谷地会館	3班
11月20日(火) 午後7時00分～ 午後8時30分	仙南地区	町田会館	1班
		南ふれあい館(旧仙南交流センター)	2班
		野荒町児童館	3班
11月21日(水) 午後7時00分～ 午後8時30分	六郷地区	杉の子会館	1班
		野中生活総合センター	2班
		七滝会館	3班

1班	2班	3班
中村美智男・熊谷 良夫 伊藤 福章・武藤 威 中村 利昭・吉野 久	森元 淑雄・福田 守 泉 繁夫・澁谷 俊二 深澤 均・高橋 猛	泉 美和子・杉澤 隆一 戸澤 勉・熊谷 隆一 飛澤龍右工門・深沢 義一

## みさと議会だより 第32号 クイズ

### ★クイズ回答

- 【問1】千屋・〇〇小学校交流が県事業に採択 **【回答】御田**  
 【問2】防災施策の財源確保に町民税均等割り〇〇〇円引き上げ **【回答】500**

### ◎クイズ当選者

抽選の結果、次の方が当選しました。  
 深澤 久美子 様 泉谷 幸子 様

●お詫び  
 みさと議会だより第32号6ページ一般質問の記事の内容に誤りがありました。同ページ右下、泉美和子議員の質問「国保税の引き上げを」とありますが正しくは「国保税の引き下げを」でした。訂正してお詫びいたします。



田村麻里子さん

ひでひら  
柴田 秀衡君

## 福祉のスペシャリスト を目指す 六郷高校福祉科

少子高齢化社会が進む中、平成15年に設置され福祉のスペシャリスト育成を目指す六郷高校福祉科を訪問しました。

福祉科は、普通科とのくくり募集で入学し選考試験を経て2年生から本格的に福祉学を学び、介護福祉士国家試験の受験資格を取得できます。全国平均の合格率は50%ですが、六郷高校福祉科では毎年全国平均を大きく上回り、昨年度の合格率は過去最高の93.3%でした。今年度は、福祉科一丸となって100%合格を目指しています。



介護実習

そんな、3年福祉科クラスの委員長田村麻里子さんと副委員長柴田秀衡君にお話をうかがいました。

―福祉科の選択理由は―

田村さん「小さいときに祖母が施設に入っていました。祖母や周りの人たちを見ていて、将来お年寄りの役に立つ仕事に就きたいなと思いました」

柴田君「入学当初から希望していましたが、身体機能やコミュニケーションの大切さなど福祉の基礎を学んでいくうちに、ますます福祉の道へ進む気持ちが強くなりました」

―介護実習での感想は―

柴田君「介護実習は、授業と違って一人ひとりの利用者さんの性格や状況が違い臨機応変に対応するのが大変です。でも、笑顔を見ればよかったです」

田村さん「利用者さんの、ありがたいの言葉がとてもうれしいです」

カリキュラム上、普通科より勉強と実習が多い福祉科ですが、清々しい笑顔で応対してくれた田村さんと柴田君を目の当たりにし、美郷の地で次代を担う若者たちが確実に育っていることを実感しました。

### ? クイズ

問1 平成23年度決算での実質公債費比率は〇〇.〇%

問2 第10回住民と議会との懇談会は、11月〇・〇・〇日

…〇に入る言葉や数字などをお答えください…

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。  
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10  
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成24年11月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、12月上旬を予定しています。  
傍聴をお待ちしております。